

阪神高速グループビジョン2030

あす
～ 未来への道、私たちの挑戦～

(概要版)

2016年(平成28年) 4月

阪神高速グループ

1. はじめに

- 『阪神高速ビジョン2020』(2010年4月)の策定後、道路の安全性に対する要請の高まりやITS技術の急速な進歩など、高速道路を巡る社会環境が大きく変化
- 阪神高速開通50年、民営化後10年の節目を迎えた新たなステージにおいて、内外状況の変化や将来の見通しなどを踏まえ、阪神高速グループが将来に向かって発展し続けるために新たな目標を掲げた『阪神高速グループビジョン2030』を策定

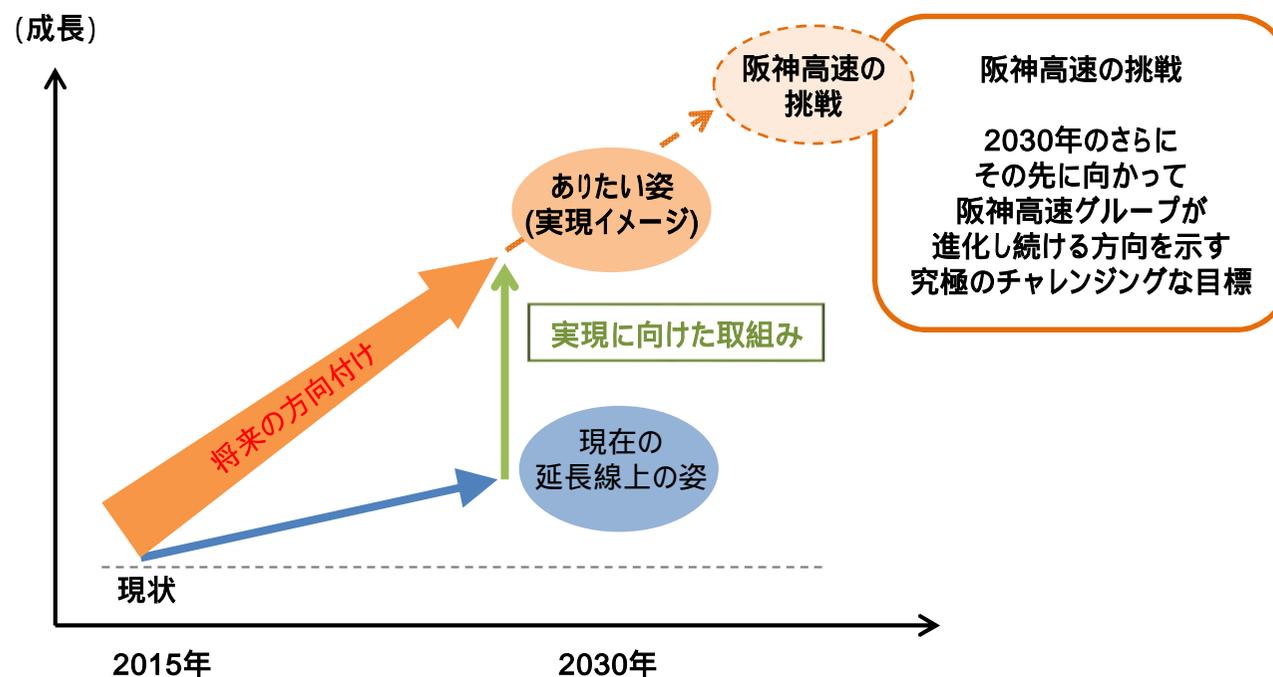
2. ビジョンの目的とグループ理念

- ビジョン策定の目的は、グループ理念のさらなる具現化に向けて、持続発展可能な組織として「将来の方向付け」を明らかにすること
- グループビジョンの策定にあたり、「先進の道路サービスへ」をビジョンの基となるグループ理念として各社の企業理念等の上位に位置付け、その具現化を図っていく



3. ビジョン2020からの主な変更点

- 「徹底したお客さま目線」を新ビジョンに取り組む基本姿勢に
 - 「安全・安心」を「ありたい姿」の筆頭に掲げて安全性への姿勢を明確化
 - 「もっと便利で快適な阪神高速道路が身近にある豊かで楽しい生活スタイル」という新たなコンセプトとして「ドライブラيف」の実現を提唱
 - 南海トラフ巨大地震などの大災害を想定した防災・減災対策に関する項目を追加
 - 経営基盤の確立と社員満足に関する「ありたい姿」を追加
 - 究極のチャレンジングな目標「阪神高速の挑戦」を設定



4. 「2030年のありたい姿」と「実現イメージ」

【2030年のありたい姿】

阪神高速グループは、2030年にめざす姿として6つの「ありたい姿」を掲げ、その実現に向けて、グループ社員が『徹底したお客さま目線』で取り組むことを通じ、グループ理念の具現化を図ります。

1. 最高の安全と安心を提供する阪神高速
2. もっと便利で快適なドライブレイフを実現する阪神高速
3. 世界水準の卓越した都市高速道路技術で発展する阪神高速
4. お客さまや社会に満足をお届けする多彩なビジネスを展開する阪神高速
5. 関西の発展に貢献し、地域・社会から愛され信頼される阪神高速
6. 経営基盤を確立し、グループ社員がやりがいを実感できる阪神高速

1. 最高の安全と安心を提供する阪神高速

阪神高速道路を将来にわたって健全で走りやすい状態に管理し、お客さまに最高の安全と安心を提供する阪神高速になっている。

【実現イメージと取組み】

お客さまが安心して利用できる最高レベルの安全性と走りやすさが備った高速道路に

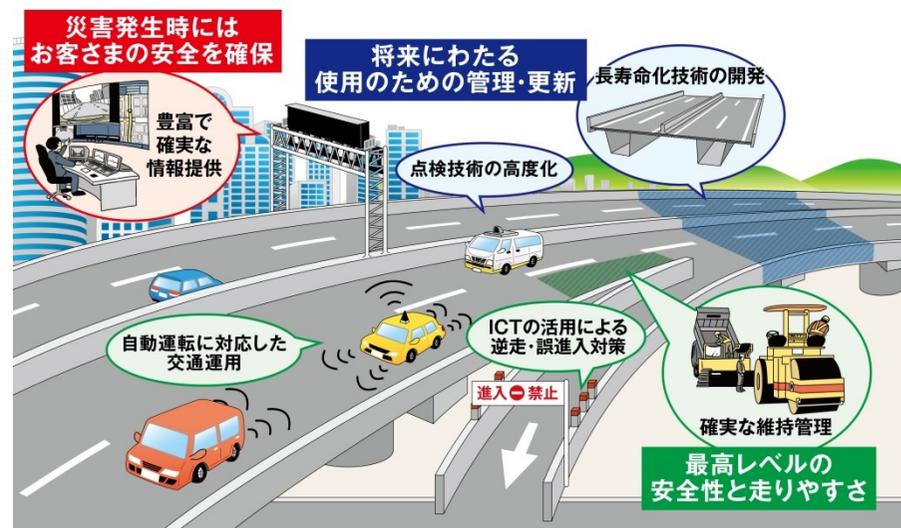
- ・大規模更新事業やフレッシュアップ工事等による確実な維持管理の実施
- ・ジョイントレス技術による高速道路の短区間ジョイントの解消
- ・ICTの活用等による逆走・誤進入対策の実施
- ・プローブ交通情報等を活用した交通制御による交通事故・渋滞の削減 など

将来にわたって構造物・施設を使用しつづけるための管理・更新手法を実現

- ・長期にわたって構造物・施設の使用が可能となる長寿命化技術や施工法の開発
- ・社会インフラを永続的に使い続けていくためのアセットマネジメントの確立
- ・IoT、3次元モデル(CIM)、ロボット等の新技术を活用して維持管理を高度化・効率化

災害発生時にはすべてのお客さまの安全を確保するとともに、地域のライフラインとして機能

- ・車両や個人のICT機器と連携した避難誘導方法や交通制御手法を確立
- ・異常気象発生時には通行規制を適切に実施し、通行可能路線では事故防止のために必要な情報をより豊富にかつ確実に提供
- ・地震・津波等の災害時でも地域のライフラインとして機能することを目指した防災・減災対策



阪神高速の挑戦

- 交通事故ゼロに
- 逆走・誤進入ゼロに

2. もっと便利で快適なドライブレイブを実現する阪神高速

お客様のニーズに応じた道路サービスを追求し、もっと便利で快適な阪神高速道路が身近にある豊かで楽しい生活スタイル「ドライブレイブ」をすべてのお客様に実現できる阪神高速になっている。

【実現イメージと取組み】

ミッシングリンクの解消と渋滞減少により、物流、レジャーなどお客様のニーズに応じたルート選択や定時性の確保が可能に

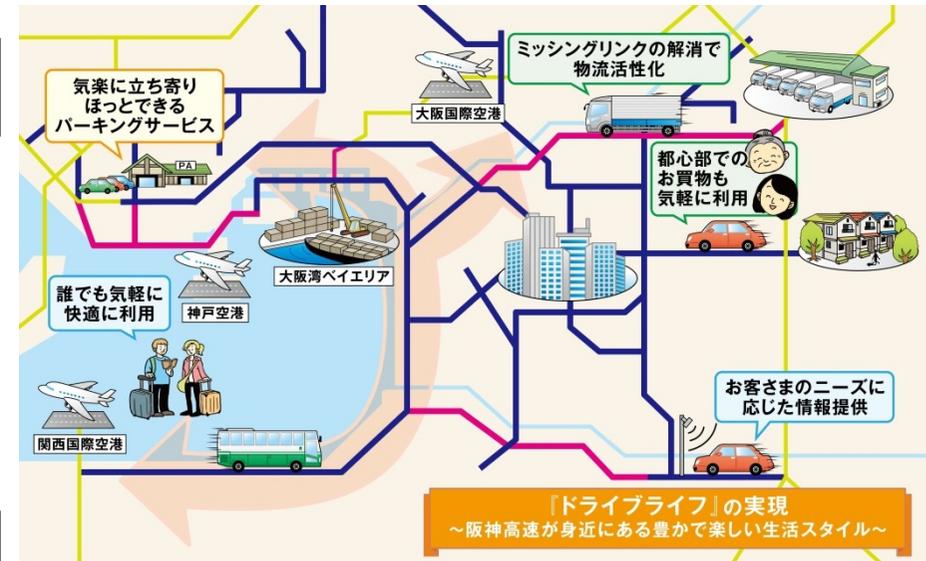
- ・大阪都市再生環状道路、大阪湾岸道路西伸部等のネットワーク整備によるミッシングリンクの解消に向けた積極的な取組みとネットワークの更なる強化を検討
- ・ICTの活用や合流部付近のレーンマーク変更等の交通運用対策による渋滞の削減
- ・関西都市圏一体となったシームレスな交通制御による渋滞の削減
- ・公平・シンプルでシームレスな利用しやすい料金体系の確立 など

必要な道路交通情報をどこでも取得でき、快適な走行が可能で、誰でも気軽に使える高速道路に

- ・お客様の情報ニーズを把握し、カーナビゲーションシステム・モバイル機器や情報板等のあらゆるデバイスにより、高齢者・外国人等を含むすべてのお客様のニーズに応じた道路交通情報を提供
- ・お客様のより安全・安心・快適な利用のための情報提供・広報展開 など

すべてのお客様が気軽に立ち寄り、ほっとできるパーキングサービス

- ・ネットワークの拡充によって生じる長距離運転区間を解消するパーキングサービスの整備
- ・高齢者・外国人等の多様化するニーズにも対応し得る「きれい・あんしん」「やすらぎ」「ぬくもり」の感じられるパーキングエリアの環境整備とサービス展開 など



阪神高速の挑戦

- 渋滞のない快適な道路に
- すべてのお客様に満足していただけるパーキングエリアに

3. 世界水準の卓越した都市高速道路技術で発展する阪神高速

卓越した都市高速道路技術のイノベーションに挑戦し続け、経営基盤となる世界水準の技術力を発展・蓄積することにより、高品質かつ効率的に高速道路を建設・更新、管理する阪神高速になっている。

【実現イメージと取組み】

維持管理性に優れ、災害に強く、地球環境に配慮した都市高速道路を建設・管理する総合的な技術力を発展・蓄積

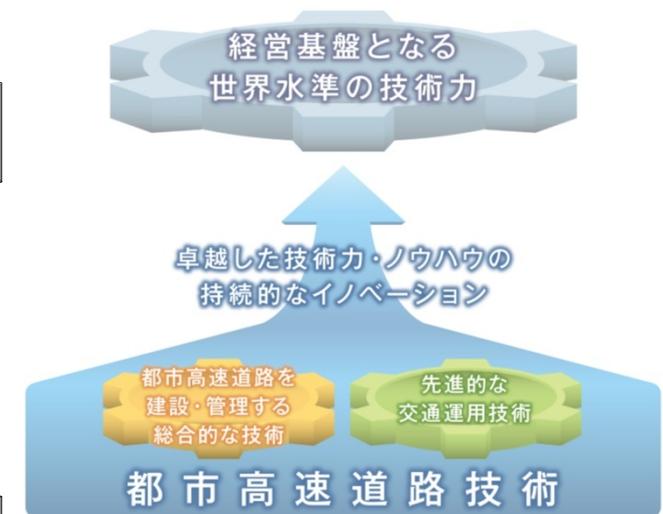
- ・都市高速道路の建設・管理の経験を活かした新規路線建設及び大規模更新事業に係る技術の開発・活用
- ・地域インフラにも活用できる災害対応技術や点検・非破壊検査等の技術の開発・蓄積
- ・走行音・振動の少ない環境負荷軽減を目指した舗装等の技術開発
- ・周辺環境に配慮した低騒音補修工法の開発 など

自動車技術の進歩にも適応した先進的な交通運用技術の開発

- ・人工知能(AI)を活用した交通制御の高度化
- ・自動運転車に対応した新しい交通運用 など

卓越した技術力・ノウハウの持続的なイノベーション

- ・産官学連携による革新的な技術開発(オープンイノベーション)
- ・高い技術力・ノウハウを持続発展させるため、グループ内へのインハウス化を推進
- ・海外事業で積み上げられた成果(人材・技術・ノウハウ)を高速道路事業にフィードバックし活用するリバース・イノベーションを推進 など



阪神高速の挑戦

- 永続的な安全が確保されたメンテナンスしやすい高速道路の開発
- 交通流の常時円滑化を実現する交通運用技術の確立

4. お客さまや社会に満足をお届けする多彩なビジネスを展開する阪神高速

お客さまや社会のニーズに応えるため、グループの技術、ノウハウ等の強みを活かした事業や新たなビジネスなど多彩な関連事業を展開する阪神高速になっている。

【実現イメージと取組み】

高速道路事業で培った技術・ノウハウを活用し、総合的な技術外販グループとして関西で不動の地位を確立

- ・阪神高速道路と接続等する高規格道路等、関西都市エリアの道路交通インフラで管理代行を展開
- ・国内都市エリアの高規格道路等において、総合的なコンサルティング事業を展開
- ・グループが有する技術・ノウハウを活かした道路建設や、建設マネジメント事業を積極的に展開 など

技術力やノウハウを活かした海外技術協力や海外コンサルティング事業などの海外事業基盤を確立

- ・従前からの海外事業をさらに積極的に展開し、対象国のニーズに応じて保有する道路運営・管理に関する技術やノウハウを活用した技術協力やコンサルティング業務を実施
- ・国内外の関連企業・組織との協働、直接投資等による事業の開拓・実施を通じて人的経営資源を育成

お客さまや社会のニーズをとらえた新たな分野への進出など積極的な事業展開により、収益の柱を育成し、経営基盤を確立

- ・道路区域外において、民間ビジネスパートナー等との業務提携、強みを活かしたエリア戦略等により、積極的に駐車場事業を拡大展開
- ・商業施設、情報やエネルギーのストレージ等に高架下空間を活用した事業を展開
- ・有効な資産を取得し、時代のニーズにあった付加価値を加えた不動産事業の展開
- ・お客さまや社会のニーズをとらえて事業買収、業務提携、人事交流等も視野にいたした新規事業を積極的に展開し、収益の柱を育成 など



阪神高速の挑戦

- 技術外販を全国展開
- 阪神高速が道路交通インフラO & Mの世界ブランドに
- 関連事業の売上高と売上総利益を倍増

5. 関西の発展に貢献し、地域・社会から愛され信頼される阪神高速

関西とともに発展し、美しく豊かで住みやすい関西に貢献するため、企業活動を通じて地域の活性化、環境保全などに取り組み、地域・社会から愛され信頼される阪神高速になっている。

【実現イメージと取組み】

大阪湾ベイエリアと関西内陸部の交通が飛躍的にスムーズになるなど、阪神高速道路を活用した経済社会活動の活性化により、アジアゲートウェイとしての関西のポテンシャルが向上

・関西の空港・港湾、内陸部等を結ぶ地域密着型インフラとして、関西活性化に貢献するため、更なる安全・安心・快適な道路サービスの提供 など

災害時にも強いネットワークを確保し、関西の都市構造の強靱化に貢献

・ミッシングリンクの解消による道路ネットワークの冗長性(リダンダンシー)の確保
・地震・津波等の災害時でも地域のライフラインとして機能することを目指した防災・減災対策

地域・社会との交流・コミュニケーションの深化を図り、良き企業市民として社会貢献活動や技術支援を推進することで、地域・社会の発展に貢献

・保有する人的・物的資源やノウハウを活かした社会貢献活動(地域・社会の活性化や安全への取組み等)を推進
・高速道路の建設における周辺地域と調和のとれた美しい都市景観の創造
・平常時においては災害対応に関する保有技術・ノウハウの紹介・共有に努め、災害発生時には初期点検等の技術者支援を実施 など

環境負荷の少ない都市づくりに寄与し、地球環境保全に配慮

・ミッシングリンクの整備や渋滞対策等により、円滑な交通の流れを確保し排出ガスの低減や省エネルギーに寄与
・先進技術の導入による建設・管理における使用エネルギーの削減、廃棄物の低減、リサイクルの促進 など



阪神高速の挑戦

- 阪神高速によるストック効果で関西経済の飛躍に貢献
- 先進のCSR経営推進企業に

6. 経営基盤を確立し、グループ社員がやりがいを実感できる阪神高速

これからもお客さまの満足を実現し、関西のくらしや経済の発展に貢献し続けるため、安定した経営基盤を確立するとともに、社員の誇りと情熱を持った取組みがグループを成長させ、そこから社員が一層のやりがいを実感できる阪神高速になっている。

【実現イメージと取組み】

持続的発展を支える安定した経営基盤・体制の確立と債務の確実な返済

- ・経営資源(ヒト・モノ・カネ)を一体的にマネジメントし、「選択と集中」により適時適切な経営資源を配分する体制の構築
- ・利用促進策や業務改善・効率化の積極的な推進による安定した経営基盤の確立と債務の確実な返済
- ・関連事業において、収益性の確保を基本としつつ、事業規模の拡大により利益構造を確立 など

グループ企業価値を最大化するグループ経営体制の最適化

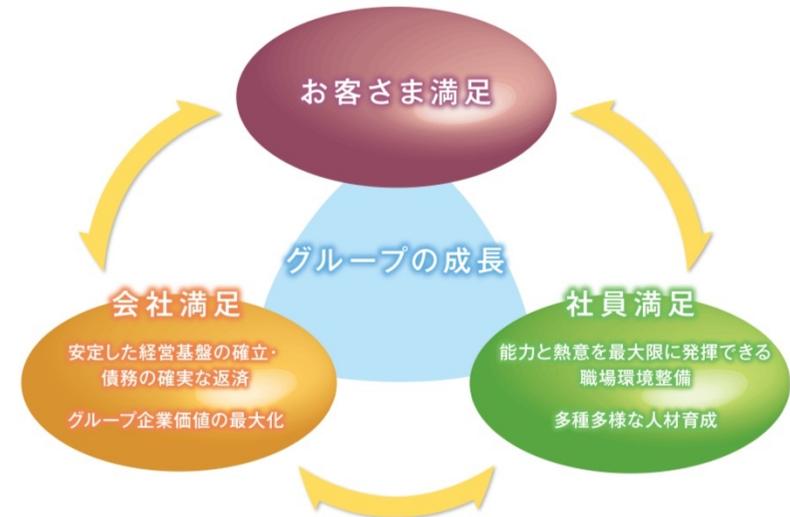
- ・グループ各社の事業領域、運営状況、将来見通し等を分析し、グループ経営体制を最適化 など

グループ社員が仕事にやりがいを持ち、能力と熱意を最大限に発揮できる職場

- ・社員の多様性を尊重して受け入れ、社員の能力と熱意を最大限に発揮できる職場風土や働き方、安心して働ける職場環境を整備

グループ社員一人ひとりがグループ理念を十分に理解し、徹底したお客さま目線で考え、その使命を達成する社員の集団

- ・徹底したお客さま目線で目標を設定しチャレンジするとともに、グループの強みである高いマネジメント力等の「阪神高速スキル」を有する『プロフェッショナル人材』を育成
- ・グループ全体で技術力やノウハウを蓄積・活用を図るとともに、高い専門性を有する多種多様な社員を教育・育成



阪神高速の挑戦

- 社員全員がやりがいとチャレンジ精神を持てるグループに
- 関連事業の売上高と売上総利益を倍増